

基本コンセプト

和めない笑顔になれませんよね。
笑いあり、話しあり、驚きあり！
みなさんと創造して、この空間を育てていく

理念

障害がある本人やその家族の身近で、安心して訪れられる場所として、
笑いあり、話しあり、驚きあり！ そんな三間(人間・時間・空間)の創造体になろう。

そいる

小郡

営業時間: 9時15分～17時15分
午前中: 児童発達支援
午後: 放課後等デイサービス
送迎あり

方針

子どもへのサービスは、子どものために提供する
生まれて町で育ち、育てられ、生まれた町で暮らして、眠りにつける街をつくる
制度を活用し、展開できる地域をつなぐ

- ・ あそびば(こどものための探索・息抜きの場)
- ・ かたりば(保護者のための立寄り・息抜きの場)
- ・ たまりば(関係者のためのつづやき・息抜きの場)

成長・発達の状況をとらえて **発達を促進する支援** をおこなう。

幼児期からの引継ぎを踏まえて **連続した育ちの支援** をおこなう。

その子の強みをとらえて伸ばし、将来につなぐ **自立支援** をおこなう。

貴重な学齢期、思春期をより充実できる **生活支援** をおこなう。

保護者が子どもへの託す夢や期待を育みつつ **家族を支援** する。

子どもの現実的な生活力を想定して、将来像を共有できる **家族支援**

日々のこと、子どもたちの将来に向けた **地域との連携**、地域づくり。

事業所名	そいる小郡（児童発達支援）				支援プログラム				作成日	2025年	3月
法人（事業所）理念	子どもの育ちと子育てをサポートできる活きた地域の一員として、こどもと家族がホッとできる場所となり、地域を少しずつ作っていく仕掛け人であり続けます。										
支援方針	<p>本人ならびにご家族を理解するためにアセスメントを行います。こどもの目線に立ちながら、発達・障害・子育てに関する専門的支援を提供し、十分な時間をかけてこどもと保護者がスタッフへの安心と信頼を構築していきます。</p> <p>こどもへの支援提供にあたっては、子ども同士のかかわりを重視しながら、個々に応じた支援を、「できるだけ、ゆっくり、じっくり、ゆったり」とした時間や環境のもと提供します。アセスメントにより、よほどの必要性がない限り、抜き出し等の個別支援を提供することはいたしません。</p> <p>保護者ならびにご家族への支援は、お子様の育ちにかかわる支援、ご家族の生活や仕事に関わる支援、不安や疑問に関する相談となります。</p> <p>こどもの進級や進学のみならず、生活環境の変化に関する状況把握に務め、円滑な環境適応のための関係機関の調整や意向を見越した本人への支援に努めます。</p>										
営業時間	平日・土曜日	9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎の有無	あり		
支援提供時間の内訳	未就学児童（児童発達支援）の提供時間は、9時15分から12時30分です。学齢児以降（放課後等デイサービス）の提供時間は13時30分～18時です。						委託事業等		小郡市巡回相談専門員派遣事業 ならびに 中核機能強化事業		
支 援 内 容											
健康・生活	把握した生活リズムや健康状態の現状に基づき、個々の健康状態の維持継続、改善のための本人支援、ご家族への提案を行います。保護者が認識している「健康状態」を把握しつつ、本人の状況をとらえながら、「より快適な状態」を提案するように関わります。準備、着替え、トイレ、食事、整容など身の回りの活動で、「できた」「やってみよう」といった能動的な取り組みを誘導しながら、生活スキルの向上の機会を設けます。										
運動・感覚	個々の運動のペースや動きの幅（動き、範囲、安定性、耐久性、持続性）を保障しながら、より向上できるような活動を提供します。日々の行動から、得意なまたは苦手な運動や感覚の要素分析を行い、必要に応じてスタッフの手助けなどを活用しながら、「自分でできた！」という充足感を得られるような支援を行います。										
認知・行動	個々の遊びや行動から、現状の発達段階、理解状況をくみ取りながら、物の名称、動詞と行動、概念の理解（発達）状況を分析し、指示理解、記憶の保持等を行いやすい関わりを目指します。できたことを理解し喜べる経験や困ったことを表現して試行錯誤できる機会を提供します。安心感、信頼感を持ってもらえるよう細かな分析と細やかな支援を繰り返します。										
言語・コミュニケーション	人への安心感、信頼感に基づいた「伝えたい」「話したい」「伝わった」という気持ちを第一に育みます。お友達との活動やレクリエーションを通して個々が表現している手段や内容を発展させ、より多くの人に伝えられる手段へと発展させていきます。										
人間関係・社会性	人との関係性の基礎となる親子関係、職員との関係において安心感、信頼感を育むことを大前提とします。その上で、大人を介しながら集団への参加を促します。お友達とのかかわりの中で、表現や行動、他者との関係性を持津ことを重視し、自己理解や主体的行動をとれること、適切な行為に臨めるよう支援します。										
取 組 内 容											
家族に対する支援	こどもの成長発達を日々確認し、意見交換、情報交換を行います。子育て、日々の生活での気づき、疑問や悩みに対して、生活年齢、発達年齢、障害特性、支援の指針を踏まえて個別に対応します。						移行支援		必ず必要となる就園、進級、就学の準備については、日々の意見交換の際に含ませながらお話をしていきます。特に就学に際しては個別面談を実施し、スムーズに市町の教育相談につなげるよう進めます。その時々の子どもの状況を踏まえながら、保育園等の基礎集団への以降のタイミングを見計らい、利用頻度の調整等をおこないます。		
地域支援・地域連携	契約児童の通う保育所・保育園・幼稚園・学校はもとより、小郡市内の機関の状況把握、先生方との情報共有や連携を行います。契約児童が地域に基礎集団を持ち、より楽しく過ごせるよう勉強会等を通じて顔の見える関係を継続しています。						職員の質の向上		支援プログラムの立案、実施、再検討をSVと共に日々繰り返すOJTにより、法人内での支援内容のブラッシュアップを行います。その他、法人内研修に加え、全国児童発達支援協議会等が提供する研修、小郡市自立支援協議会児童WTの勉強会（事例検討や講義）への参加を行います。		
主な行事等	特別な行事は設けておりません。お正月、節分、ひな祭り、水遊び、プール、ハロウィン、クリスマスなど風物詩的な取り組みは、通常の活動の中に取り入れています。										

事業所名	そいる小郡（放課後等デイサービス）	支援プログラム（参考様式）	作成日	2025 年	3 月
法人（事業所）理念	子どもの育ちと子育てをサポートできる活きた地域の一員として、子どもと家族がホッとできる場所となり、地域を少しずつ作っていく仕掛け人であり続けます。				
支援方針	<p>児童発達支援からの継続支援児童のみを対象としています。</p> <p>基礎集団は学校であり、その環境化での経験をもとに本人の理解ならびにご家族の理解を共に深めてゆきます。</p> <p>子どもへの支援提供にあたっては、子ども同士のかかわりを重視しながら、個々に応じた支援を、「できるだけ、ゆっくり、じっくり、まったり」とした時間や環境のもと提供します。子どもの選択する活動を尊重し、本人の活動の内容と人数の希望を尊重しつつ、課題解決のためのより良い方法を共に考える作業を日々繰り返して支援します。</p> <p>日々の宿題に関しては、全員に子ども自身の課題への取り組み、理解状況、処理・解決方法等を把握検討できる共通する課題としてとらえ、個々に対応しながら完了させて終わらせます。また、その内容は所属するクラス、担任のこどもの状況把握の指標ともなりますので、必要に応じ関係機関との連絡調整のための具体的内容として連携をはかります。</p> <p>集団内での個別な支援は、成長・発達・障害に関して専門的に提供します。抜き出し等の個別支援を提供することはいたしません。</p> <p>保護者ならびにご家族への支援は、お子様の育ちにかかわる支援はもとより、将来の姿を創造しながら相談・援助をおこないます。</p> <p>こどもの進級や進学のみならず、生活環境の変化に関する状況把握に務め、円滑な環境適応のための関係機関の調整や意向を見越した本人への支援に努めます。</p>				
営業時間	平日・土曜 日	9 時 0 分	から	18 時 0 分	まで
送迎の有無	あり				
支援提供時間の内訳	未就学児童（児童発達支援）の提供時間は、9時15分から12時30分です。 学齢児以降（放課後等デイサービス）の提供時間は13時30分～18時です。		委託事業等	小郡市巡回相談専門員派遣事業 ならびに 中核機能強化事業	
支 援 内 容					
健康・生活	<p>本人の生活リズムと身体的な持久力・耐久性等を把握し、年齢に合わせて求められる生活リズムとのもとに状況を把握します。</p> <p>本人が自認している「健康状態」を肯定しつつ、心身の健康の維持継続（改善）をはかります。そのための本人支援、環境調整、ご家族への提案を行います。</p> <p>審判処理の状況を確認のもと、将来を見据えて可能な日常生活活動を維持できるよう支援するとともに、難しいことに関しては、自助具や環境調整、介護の検討などを活用した生活を提案します。</p> <p>「できた」ことの喜びと継続、「やってみよう」と思える経験を提供し、生活スキルの向上の機会を提供します。</p>				
運動・感覚	<p>個々の運動のペースや動きの幅（動き、範囲、安定性、耐久性、持続性）を保障しながら、維持・向上できるような活動を提供します。</p> <p>日々の行動から、得意または苦手な運動や感覚の要素分析を行い、必要に応じてスタッフの手助けなどを活用しながら、「自分でできた！」という充足感を得られるような支援を行います。</p> <p>変形や拘縮、性徴と心のバランス、身体的成長に伴う運動機能の向上と低下を鑑みながら、その時期に適切と考えられる活動の機会を提供します。</p>				
認知・行動	<p>現状の発達段階、理解状況を把握し、学習において求められている課題の妥当性をその都度検討し、適正化できるよう環境調整、保護者との情報交換、学校との連携（担任への提案）を行います。</p> <p>その子の運動能力、感覚特性、認知レベルから生じる行動特性を理解し、こどもが他児との活動を楽しめるように介入します。</p> <p>できたことを理解し喜べる経験や困ったことを表現して試行錯誤できる機会を提供します。安心感、信頼感を持ってもらえるよう細かな分析と細やかな支援を繰り返します。</p>				
高次・コミュニケーション	<p>人へのかかわり、「伝えたい」「話したい」「伝わった」という経験を少しでも積み重ねることができるように関わります。基礎集団（学校）、お友達関係での出来事を聞き取りながら、その子なりの適切な状況の説明、気持ちの表現等をできるように関わります。</p> <p>お友達との活動やレクリエーションを通して、人とコミュニケーションをとり続けられるように関わります。</p>				
人間関係・社会性	<p>お友達とのかかわりの中で、表現や行動、他者との関係性をもちながら、自己理解や主体的行動、行為をとれるよう支援します。</p> <p>活動における他児とのかかわりを通して、本人の特性を言語化・見える化し、自己理解の機会を提供していきます。特性の理解を含め自己の安定、維持、自他の区別を理解できるように段階的に伝え、適切な対応、対処、肯定的な回避行動が取れるよう支援します。</p>				
取 組 内 容					
家族に対する支援	保護者が観ることができないこどもの様子も増えますので、本人のプライバシーの尊重をした範囲内で、保護者との意見交換、情報交換を行います。日々の生活での気づき、心配事、疑問に対して、その都度個別に対応します。	移行支援	毎年度、進級、進学による劇的な環境変化はあります。送迎時、通常連絡手段（連絡帳やLINE）等を活用して、日々の意見交換を行います。 年度が変わって生じる事象、年度途中で生じる環境の変化等を速やかにとらえ、必要であれば関係機関と連絡調整を行います。		
地域支援・地域連携	送迎時の学校との情報交換にて日々の様子を確認します。 担当者会議等において情報を得て、支援方針を確認しながら、支援方法を再検討します。支援方法の統一は個々の状況次第ですとお約束はできません。 契約児童の通う学校はもとより、小郡市内の機関との連携、先生方とのコミュニケーションは行っております。 また、小郡市自立支援協議会の学校教育連絡会の場において、情報交換相互理解を進めてまいります。 学校等のお友達関係等を把握し、必要に応じてお友達と過ごす放課後の活動を促進します。	職員の質の向上	こどもたちとのかかわりの中での対応をもとにOJTを大切にします。 支援方法の提案、試行、再検討を繰り返せるようSVを行います。 法人内研修に加え、自立支援協議会児童WTの勉強会（事例検討や講義）への参加を行います。		
主な行事等	特別な行事は設けておりません。 お正月、節分、ひな祭り、水遊び、プール、川遊び、ハロウィン、クリスマスなど風物詩的な取り組みは、通常の活動の中に取り入れています。 外出や公共機関の利用などは個々のプログラム、小集団でのプログラムにより設定します。				

そいる小郡(幼児)の取り組み

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:30～	順次、送迎や来園 自由遊び時間が「貴重なアセスメント」の時					
10:15～	朝の会、手遊び、絵本 準備体操					
10:35～	お茶、着替え、トイレ					
10:50～	設定保育					
11:40～	自由遊び～！「クールダウン と 再評価」					
12:15～	送迎車 出発！ (場合によって、お弁当時間)					
～17:00	(ケースによって)					

親子での通所から、単独通所へ

そいる小郡(学童)の取り組み

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	小集団グループ (個別性大)
13:30~							
14:30~	順次、送迎や来園						
15:30~	順次、宿題			順次、宿題			
16:00~	おやつ(順次)						
17:00~	送迎車出発！(1便:17時、2便17時20分)						

個別の関わりの延長に集団がある。
 スタッフも友達も子ども一人にとっては、貴重な環境である。
 その時々課題や興味は様々で、その好奇心やチャレンジを大切に、付き合える場でありたい。